

# ラグビースクール 指導者講習会 U8以下(3~8歳)

## ラグビー好きを 育てるために



(一社)福岡県ラグビーフットボール協会  
普及育成委員会 副委員長

2025年3月15日(土) JapanBase

小野 創

# 本日のメニュー

【導入】イントロダクション

【テーマ①】文部科学省の動向

【テーマ②】指導上で気をつけること

【テーマ③】タグラグビー練習メニュー

# 「真剣に取り組めるか。」やってみましょう

二人組になり、じゃんけんをして、勝ち負けを決めて、次の劇「インタビュー」を1分間真剣にやってみてください。

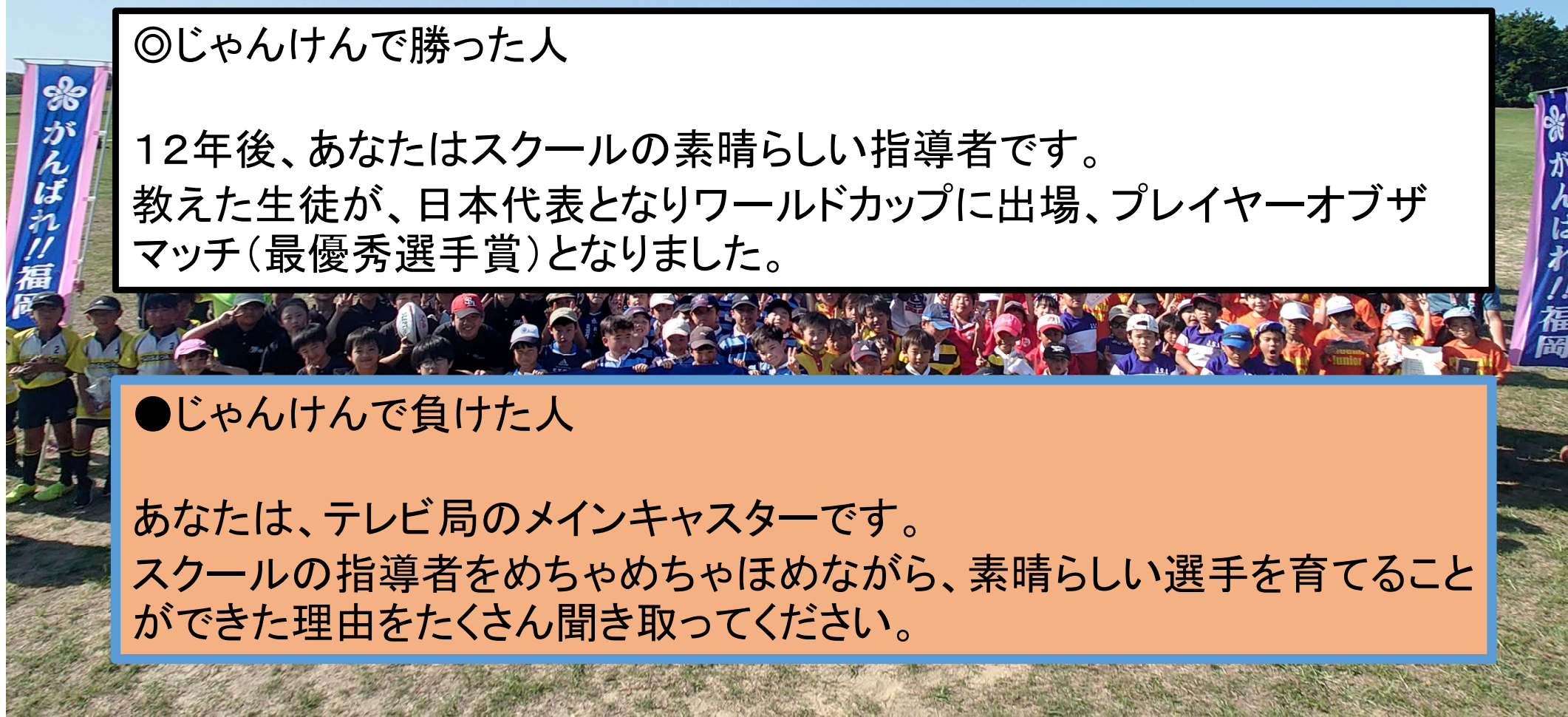
交替と聞こえたら、指導者とキャスターと交替して同じように問答をしてください。

## ◎じゃんけんで勝った人

12年後、あなたはスクールの素晴らしい指導者です。  
教えた生徒が、日本代表となりワールドカップに出場、プレイヤーオブザ  
マッチ(最優秀選手賞)となりました。

## ●じゃんけんで負けた人

あなたは、テレビ局のメインキャスターです。  
スクールの指導者をめっちゃめっちゃほめながら、素晴らしい選手を育てることが  
できた理由をたくさん聞き取ってください。



# 指導者としての「ビジョン」

スクールの指導者として答えた内容が、これからのあなたにとって必要なビジョンであり、指導者としての目標です。

目標は高いほど良いと言われます。高い目標だからこそ、大切なことは、目標に向かってスモールステップで、日々「めあて」を決めて、前進していくことです。

指導者(教える者)は、今までの指導法と新しい指導法をしっかりと研究していく必要があります。

# ラグビースクールに 入れた保護者の思い！

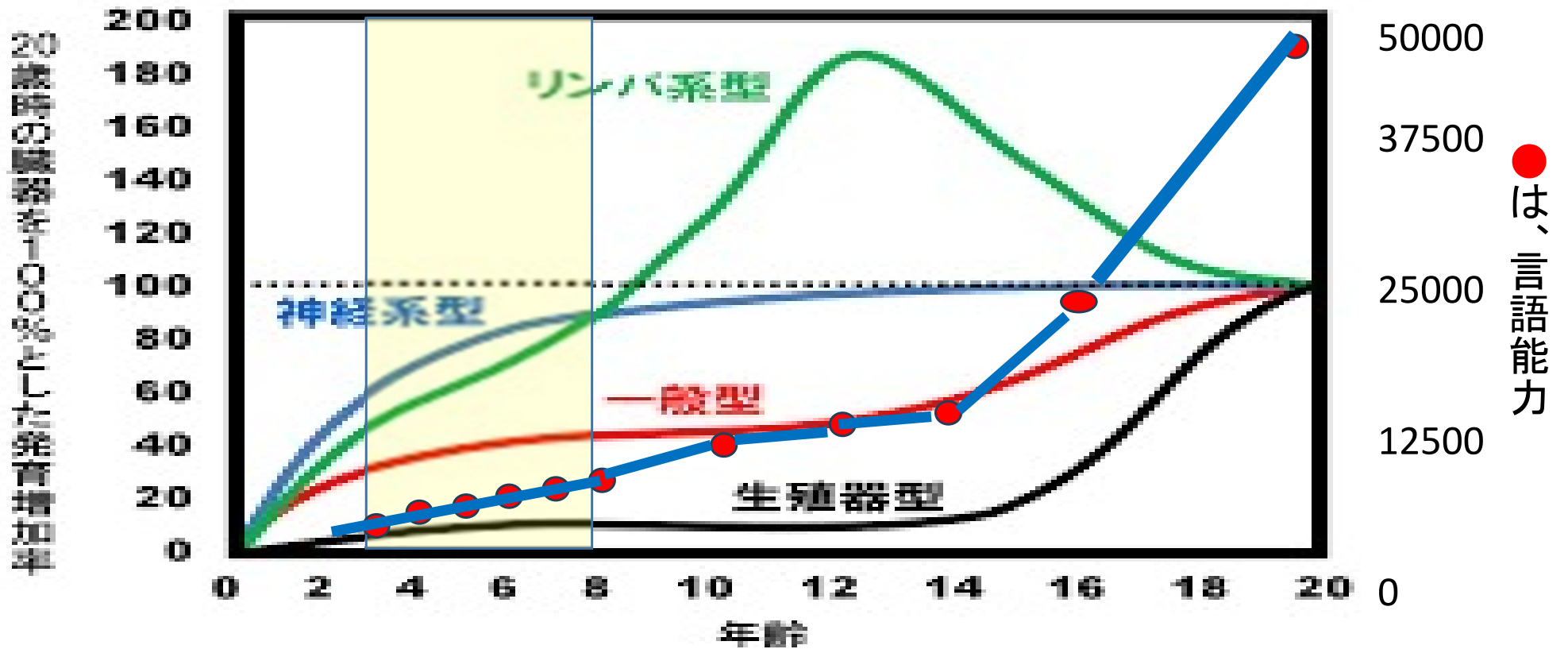
○ケガや病気にならない元気な子に！

○運動神経のよい子供に！

○誰とでも仲良くできる子供に！

○できれば、代表の選手に！

# スキヤモンの発達・発育曲線と語彙数



**語彙数** . . . **語彙数は、中学生以上になると急激に身に付いていく。**

**神経系型** . . . 器用さやリズム感を担う神経系の発達

**リンパ系型** . . . 免疫力を向上させる扁桃、リンパ節等の発達

**一般型** . . . . . 身長、体重、臓器、筋肉、骨等の発育

**生殖器型** . . . 生殖器系の発達

# 年代別 平均の語彙数

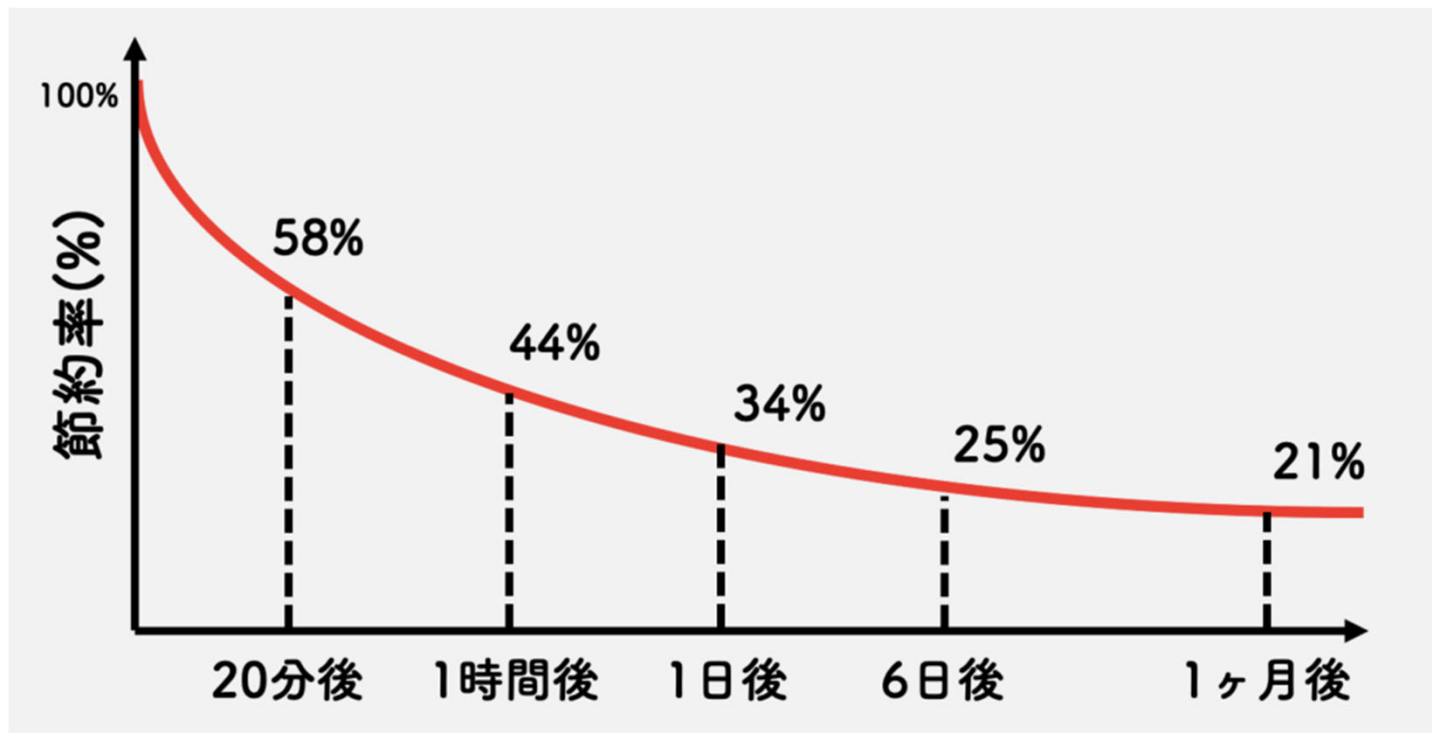
2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	
400	900	1600	2500	3600	
小学1年	小学2年	小学3年	小学4年	小学5年	小学6年
4900	6400	8100	10000	12100	14400
中学1年	中学2年	中学3年			
16900	19600	22500			

大人

50000

# 人の記憶について

## エビングハウスの忘却曲線



- 画像参照: <https://orenozyuken.com/technique/ebinguhauus/>

覚えるまでに10分を要し、20分後に覚え直すと、約4分を要した。

この場合、覚え直すのに最初と比べ、6分節約したことになる。

すなわち、節約率は  $6(\text{節約された時間}) \div 10(\text{最初に要した時間}) = 0.6 = 60\%$  となる。

**思い出すのにどれくらい節約できたか曲線の方が正しい解釈といえます。**



# 【テーマ①】 文部科学省の動向



# 幼児期の基本的動作の発達

文部科学省

- 特定のスポーツ指導・運動指導のみを行っている幼稚園や保育所も少ない。
- 幼児期は、「遊び」を中心に身体運動能力・認知的能力・情緒社会性の能力を相互補完的に育んでいく時期である。

幼児期に心地よく楽しく体を動かすことと経験していくことが重要である。

特定のスポーツにおける技術習得のための練習やトレーニングのみを実施するのではなく、様々な運動遊びにおもしろくのめり込んでいくことが大切な時期である。

# 1 2 年間の系統性を踏まえた指導内容

( 学習指導要領の改定 )

小学校			中学校		高校		
1・2年	3・4年	5・6年	1・2年	3年	1年	2年	3年
各種の運動の基礎を培う時期		多くの領域の学習を経験する時期		運動やスポーツに多様な形で関わるができるようになる時期			
体づくりの運動 遊び		体づくりの運動					
ゲーム		ボール運動		球技			

## 「体づくりの運動遊び」とは？

### A 体づくりの運動遊び

体づくりの運動遊びについて、次の事項を身に付けることができるように指導する。

(1) 次の運動遊びの楽しさに触れ、その行き方を知るとともに、体を動かす心地よさを味わったり、基本的な動きを身に付けたりすること。

ア 体ほぐしの運動遊びでは、手軽な運動遊びを行い、心と体の変化に気付いたり、みんなで関わり合ったりすること。

イ 多様な動きをつくる運動遊びでは、体のバランスをとる動き、体を移動する動き、用具を操作する動き、力試しの動きをすること。

(2) 体をほぐしたり多様な動きをつくったりする遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えること。

(3) 運動遊びに進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動したり、場の安全に気を付けたりすること。

# 日本の学校体育のタグラグビーの授業

高校  
◎ラグビー

なぜ？

発展的 系統的

2021年

中学校：学習指導要領の解説書

◎タグラグビー

小学校体育指導ガイドブックから  
タグラグビーは消されてしまった。  
フラッグフットボールが記載

2020年

小学校：学習指導要領

◎タグラグビー

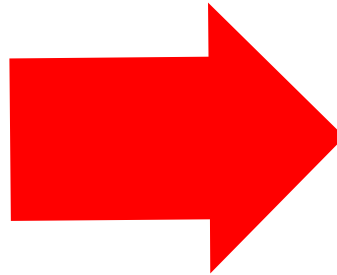
運動能力やセンスを高めるために

コーデイ  
ネーション  
運動遊び



タグ

ラグビー



各種競技

ミニ・

フルラグビー

# 小学校学習指導要領 体育 比較対象

(新)	旧
<p>(5) 内容の「Eボール運動」に(1)については、アはバスケットボール及びサッカーを、イはソフトバレーボールを、ウはソフトボールを主として取り扱う者とするが、これらに替えてハンドボール、<b>タグラグビー、フラッグフットボールなどア、イ及びウの型に応じた</b>その他のボール運動を指導することもできるものとする。なお、学校の実態に応じてウは取り扱わないことができる。</p>	<p>(3) 内容の「Eボール運動」に(1)については、アはバスケットボール及びサッカーを、イはソフトバレーボールを、ウはソフトボールを主として取り扱う者とするが、これらに替えて<b>それぞれの型に応じた</b>ハンドボールなどのその他のボール運動を指導することもできるものとする。なお、学校の実態に応じてウは取り扱わないことができる。</p>

# 運動領域 E ゲーム

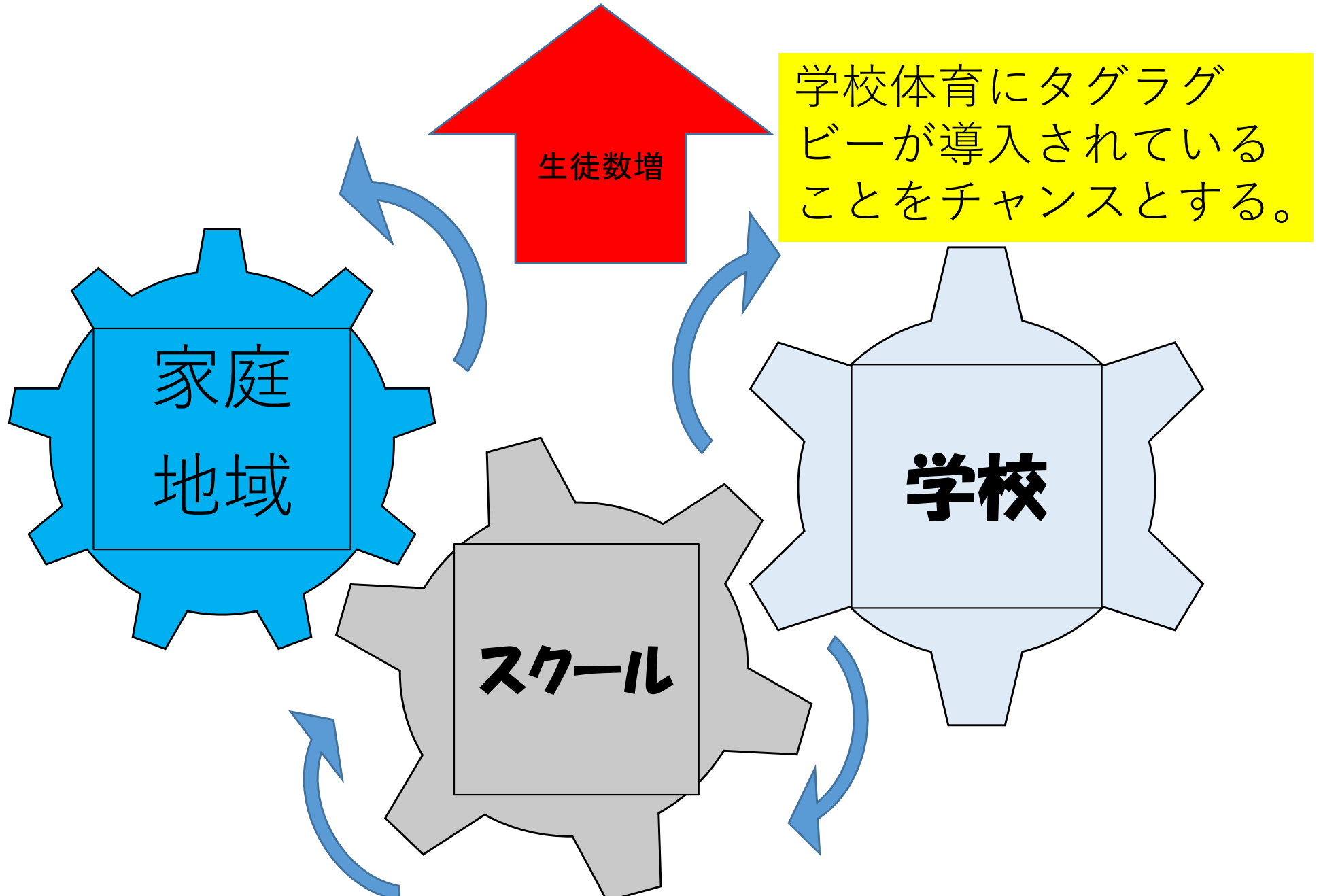
## 「重要な言葉は？」

	知識及び技能	思考力 判断力 表現力等	学びに向かう力 人間性等
低学年	楽しさに触れ	簡単な 規則	誰とでも仲よく運動
中学年	楽しさや喜びに触れ	規則	友達の考えを認め
高学年	楽しさや喜びを味わ い	ルール	仲間の考えや取組を 認め
配慮事項	運動が苦手な児童の ために		運動に意欲的でない 児童のために



# 小学校：学習指導要領

ラグビースクールの生徒数を確保するために



# U8以下(3~8歳以下) タグラグビーを導入するにあたり

- 1 練習内容(メニュー)は変える必要はない。  
※ 基礎的・基本的なスキルは今まで以上に。
- 2 タグラグビーの練習内容を少し取り入れる。  
※ 「できた」「できない」でなく、やったら「ほめる」。
- 3 試合は、タグラグビーのみ。  
※ 認識するか、しないかの違いは大きい。  
「◎目視と体感」

# クイズ1

子供を取り巻く環境はどのように変わったのか？

文部科学省

- 外遊びやスポーツの重要性を軽視するなどにより、子供に積極的に体を動かすことをさせなくなった。
- 子供を取り巻く環境が変わった。
  - **生活が便利**になり日常的に体を動かすことが減少した。
  - 体を動かすための**時間、空間、仲間**が減少した。
  - 発達段階に応じた指導ができる**指導者が少ない**。
  - **偏った食事や睡眠不足**などで生活習慣が乱れてきた。

## クイズ2

今の子供にどんな問題が発生しているか？

- その1 運動能力・体力の低下。
- その2 運動する子としない子の「二極化」。
- その3 遊ぶ場所の減少し、外で遊ばなくなった。
- その4 歩く、走る、跳ぶ、投げることがうまくできない。
- その5 ある程度まで学力は向上するが、それ以上が・・・。
- その6 スマホ等によるメンタルヘルス等の問題が発生。
- その7 ネット社会問題にまきこまれる問題が発生。

# 小学校における新体カテスト

以前に比べ ほぼ子供の体力は向上した。



しかし、

男子 握力、立ち幅跳び、ボール投げが不振

## クイズ3

幼児の生活で最低限必要なことの3つは？

- ① 10時間の睡眠
- ② バランスの良い食事
- ③ 1日60分以上の運動

# 幼児期の基本的動作の発達

文部科学省

- 幼児期は、「遊び」を中心に身体運動能力・認知的能力・情緒社会性の能力を相互補完的に育んでいく時期である。幼児期に心地よく楽しく体を動かすことと、経験していくことが重要である。

特定のスポーツにおける技術習得のための練習やトレーニングのみを実施するのではなく、様々な運動遊びにおもしろくのめり込んでいくことが大切な時期。

## 神経・筋肉・骨等の発達は、人によって違う

- 幼児期の多様な動作経験不足により、代表選手になっても、ケガをすることが多く、競技を継続できないことがある。
- 海外では、年間を通して同じスポーツをさせるのではなく、季節に応じて多種目をさせる国が多くなっている。



クイズ4

指導者にとっての喜びとは？

クイズ5

U8の子供にとっての喜びとは？

**今も昔も 子供が使える。**

**一日の時間は、変わらない。**



今も昔も 子供は同じ  
嬉しいことや楽しいことを  
たくさんやりたい！

# 【テーマ②】

指導上で気を付けるべきこと



# U8の指導者の指導形態は

- ①……まずは、やってみせ
- ②……次に言って聞かせ
- ③……そして、やらせて
- ④……最後に、ほめる

U8以下(3～8歳)は、ほめる。

※きまりや規則は、しっかりと教える。

幼児や小学生は、楽しくできることから

# スポーツ好きな子どもにするために

## 練習・試合にOODA(ウーダ)ループの考えを

指導者全員が一枚岩となって指導に当たる。  
1人より2人、2人より3人で、即時・即座で考え、  
行動する。

- ① observe . . . . .
- ② orient . . . . .
- ③ decide . . . . .
- ④ act . . . . .

観 察  
方 向 付 け  
決 断  
実 行

## 指導者から子供への伝え方

話し手と聞き手のボディーランゲージ  
【相手に意思を伝える大切なこと】

### ★ 話し手（指導者）

- ① 声だけに頼らない。
- ② 顔の表情を大切にする。
- ③ 腕や手の動作を大切にする。
- ④ 体全体を使った動作を大切にする。

# ・指導の距離感（親しくなっていく距離）

①他人（様子を覗く距離 警戒心）

②友だち（話ができる距離）

③親友（相談ができる距離 お互いに信頼し合える）

①  
2m以上 → ②  
1m → ③  
50cm

## 子ども(選手)の聞き方

話し手と聞き手のボディランゲージ  
【相手に意思を伝える大切なこと】

★ 聞き手(子ども)

- ① あいづちをする。
- ② うなずきをする。
- ③ 腕や手の動作を大切にする。



**指導者は  
スポーツを好きな子どもにするために**

楽しくプレーをすること**以外にも教えることがある。**

○「楽しくプレーを**見る**こと」

○「楽しくプレーを**支える**こと」

○「楽しくプレーを**知る**こと」

# クイズ6 ラグビー指導で重要な年齢は？

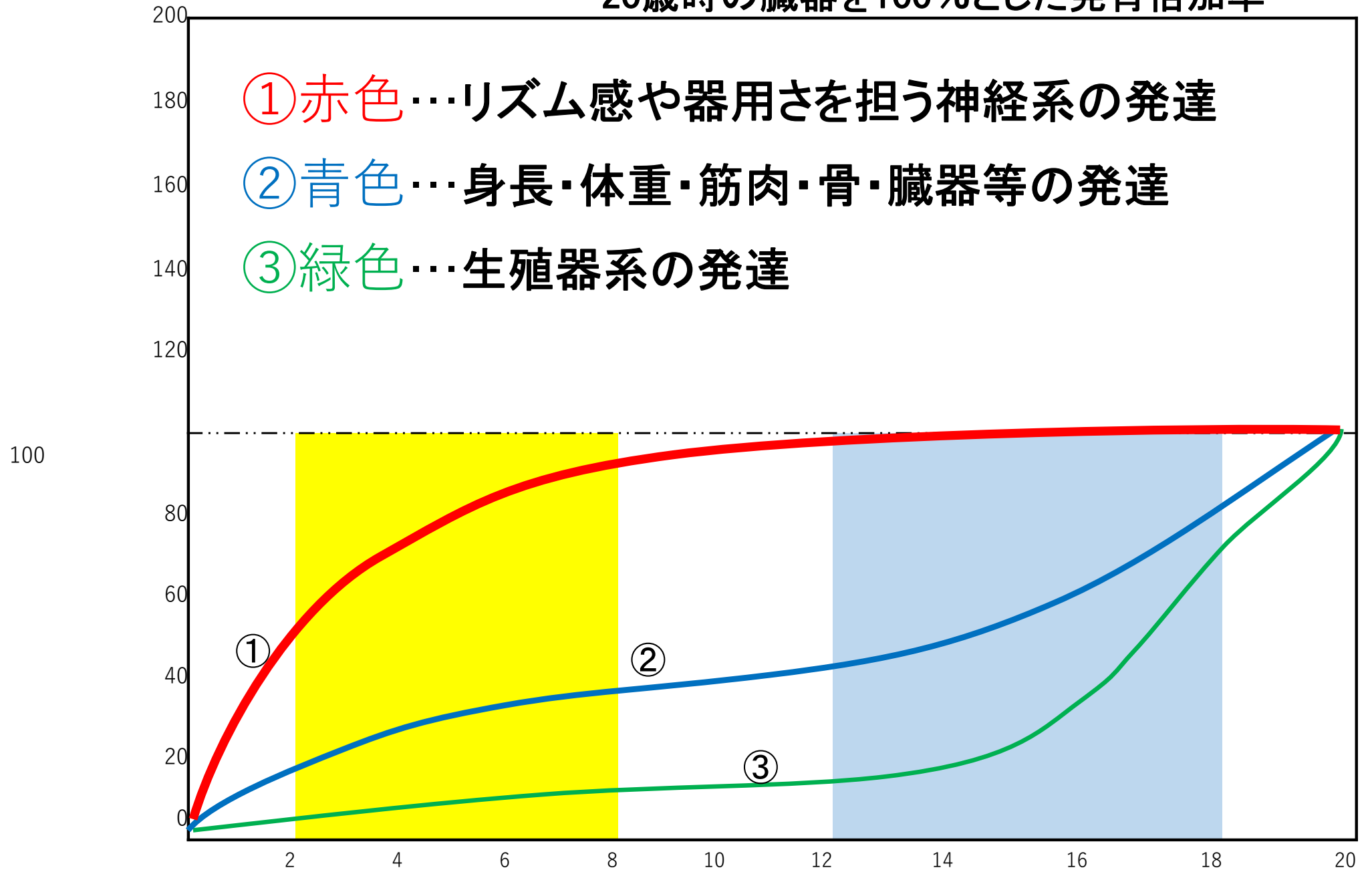


★プレゴールデンエイジ U8以下（3～8歳）

★ゴールデンエイジ（小学3年生～小学6年生）

# スキヤモンの発達・発育曲線

20歳時の臓器を100%とした発育倍加率



# 神経系の経路は

# あまい消えない。



**神経系が発達する時に、  
一輪車や自転車に乗れると、  
いくつになっても乗れます。**

## クイズ7

子供や大人が夢中にゲームをしている姿を見てどう思いますか？

時代の流れに乗っていますか？

スクールを存続させるために何をすべきか？

U8の子供とその保護者には、できるだけタグラグビーと一緒にさせる必要があると考えます。

タグラグビーは、直ぐにできるし、楽しいからです。

# ラグビーの強豪国の現状

ニュージーランド  
オーストラリア  
イングランド

# ★タックルの有無

ルール	6歳 (幼児)	7歳 (小1)	8歳 (小2)
日 本	タグ(2018年4月～)		
イングランド	タグ	タグ	タグ
オーストラリア	タグ	タグ	フル タックル
ニュージーランド	タグ	タグ	タグ

# ★ルールの改正前

(※日本だけが、広さを変更していなかった。)

グラウンド (広さと人数)	6歳 (幼児)	7歳 (小1)	8歳 (小2)
日 本	20×12 (4人(競技規則では5人まで))※		
イングランド	規定なし (4人)	20×12 (4人)	22×45 (6人)
オーストラリア	25×17 (7人)	25×17 (7人)	ハーフ (7人)
ニュージーランド	20×12 (7人)	20×12 (7人)	22×45 (10人)



# 海外での U8以下（3～8歳）の指導ポイント

- 体を動かすことの楽しさを教える。

大切なことは

○ひとつのスポーツにこだわらない。

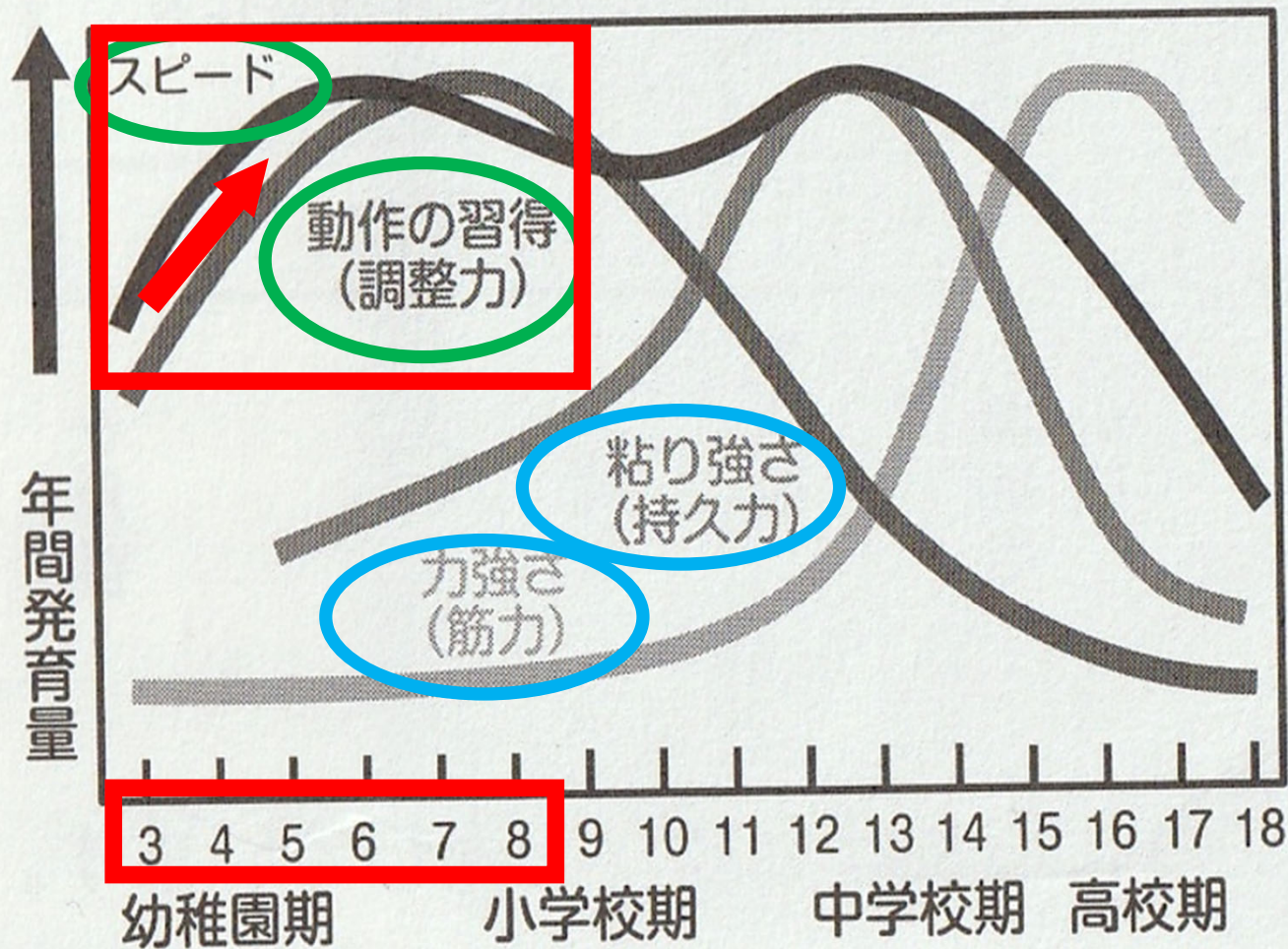
○「できた」や「できない」ではない。

いろいろな動きに挑戦させる！

1%でもできたらほめる。

# 運動能力・体力の年間発育量の年齢別変化(宮下1999)

運動能力・体力の年間発育量の年齢別変化 (宮下1999)



# ミニラグビーに比較してタグラグビーのよさは

- 個人差や男女差に関係なく楽しめる。
- 能力が未発達な子供ができる。
- 潜在的な力を引き出せる。
- コーディネーション能力（センス）が身に付く。
- **試合で多くの子供が、トライができる。**
- **ケガをしにくい。**

ミニラグビースクール

U8以下（3～8歳）

指導上の留意点

# 8歳以下の指導ポイント1

## 「指導者の位置」

### 1 指導者の立つ位置

※ 背後の環境

### 2 子供への寄り添い方

※正面と真横、目線の位置

# 8歳以下の指導のポイント2

## 「2つ以上のことを同時に」

### 1 脳と酸素

※ 動きながら考えることをさせる。

### 2 脳と運動

※ 左右の動きを変えていく。

### 3 脳と目

※ 気づいたら、直ぐに動くことをさせる。

# 8歳以下の指導のポイント3

## 「メンタルヘルス」

- 1 あいさつと心
- 2 笑顔と運動
- 3 声かけとうなずき

# 8歳以下の指導のポイント4 「褒めることの大切さ」

**試合結果を褒める指導者に教わると**  
子供の能力は、僅かな変化のみ、  
もしかすると下がるかも。

**練習過程で良さを見つけて**  
**褒める指導者に教わると**  
子供の能力は、実力以上を発揮、向上する。



# 指導者として大事なことは

子供の「心」に響く指導

子供の「興味・関心」を高める指導

子供の「やる気」を奮い起こさせる指導

# 指導内容と時間

指導内容の種類 (たて)

指導時間 (横)

± 0

+ 1 0

+ 2 0

豊富・変化

高レベルの指導

短い

- 1 0

+ 1 0

長い

± 0

低レベルの指導

少ない・いつも同じ

- 2 0

- 1 0

± 0

# 有資格者数と指導者数

有資格者数 (たて)      指導者数 (横)

± 0

+ 1 0

+ 2 0

多い

最良の指導

多い

- 1 0

+ 1 0

少ない

± 0

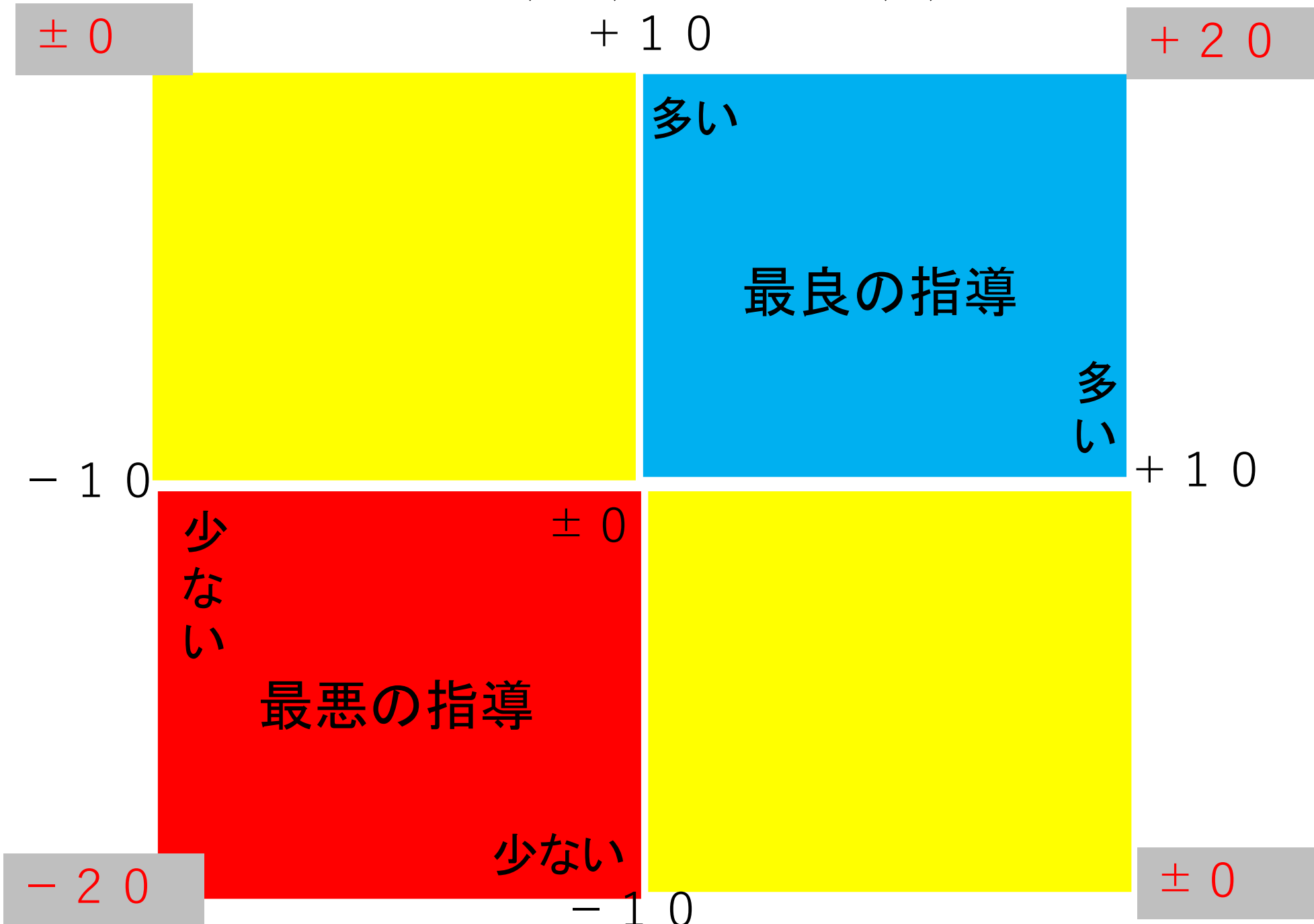
最悪の指導

少ない

- 2 0

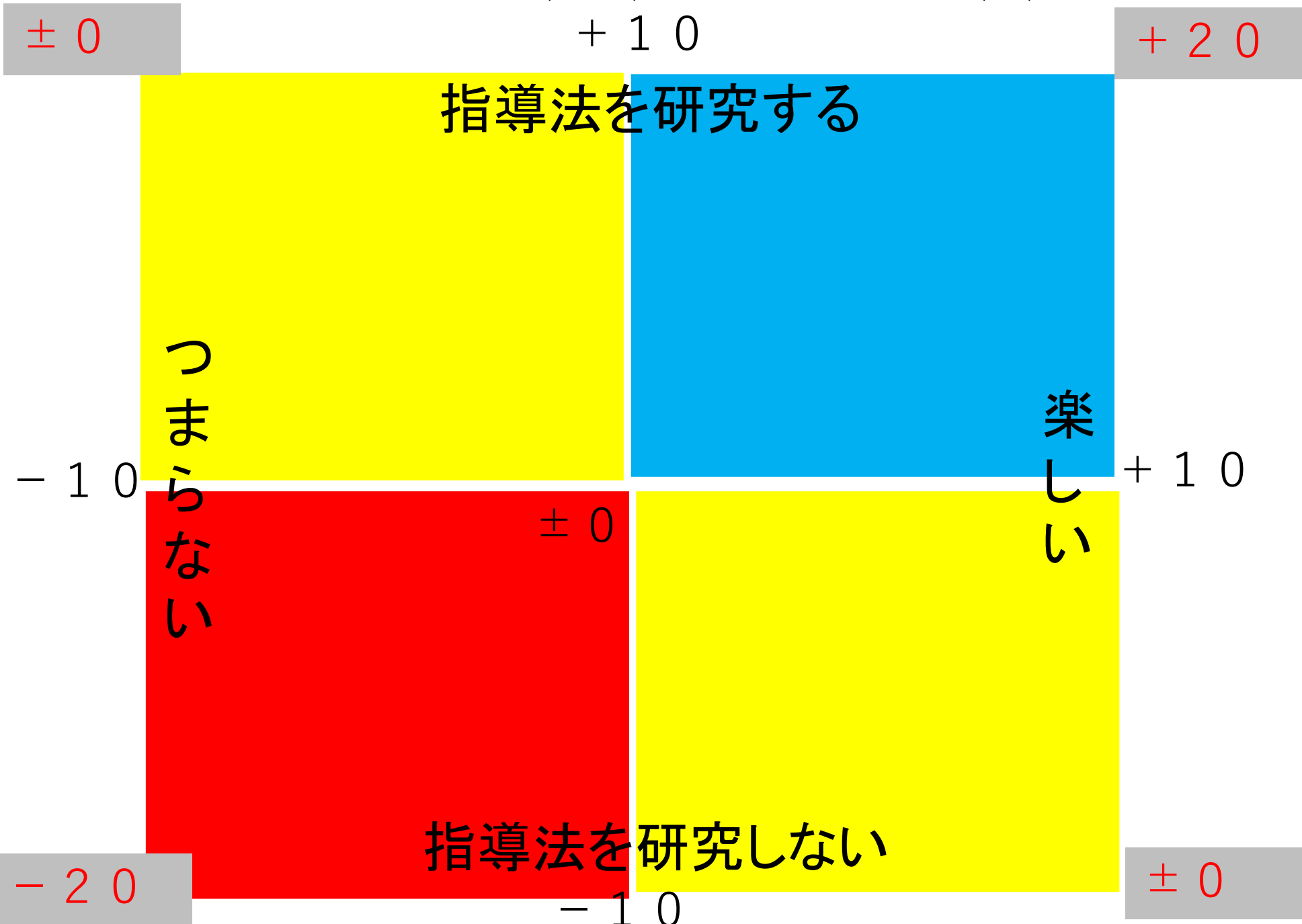
- 1 0

± 0



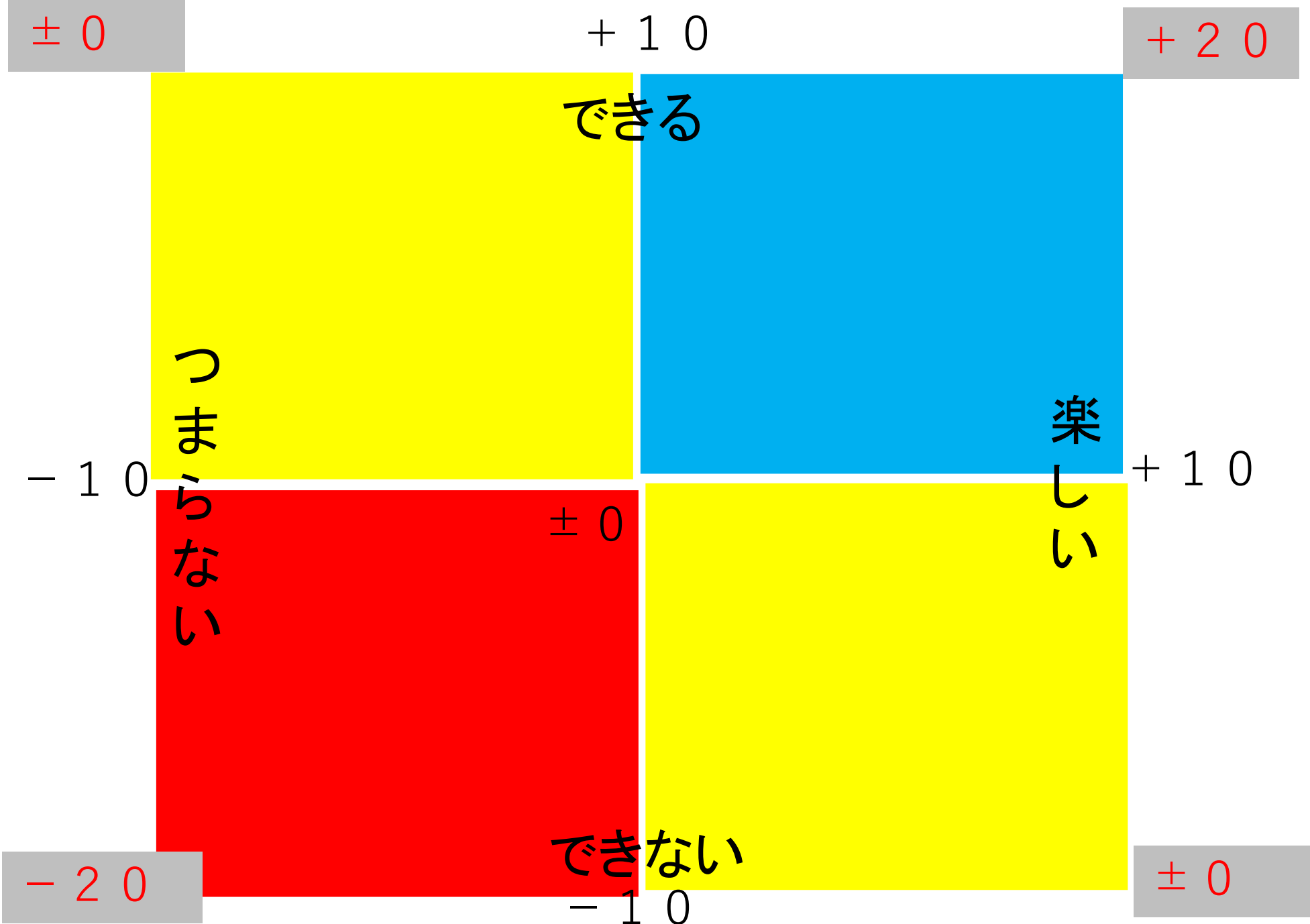
指導結果は、指導者の学びと子供の気持ちで決まる。

指導力 (たて)    子供の気持ち (横)  
+ 1 0



# 子供のスキル上達

一度指導したら、修正は難しい



# U8の監督やコーチの役目は

- ① ラグビーが好きな子供を増やす。
- ② ラグビーが得意な子供を増やす。
- ③ ラグビーが嫌いになる子供をつくらない
- ④ ラグビーが苦手となる子供をつくらない

多彩な内容  
短い練習時間

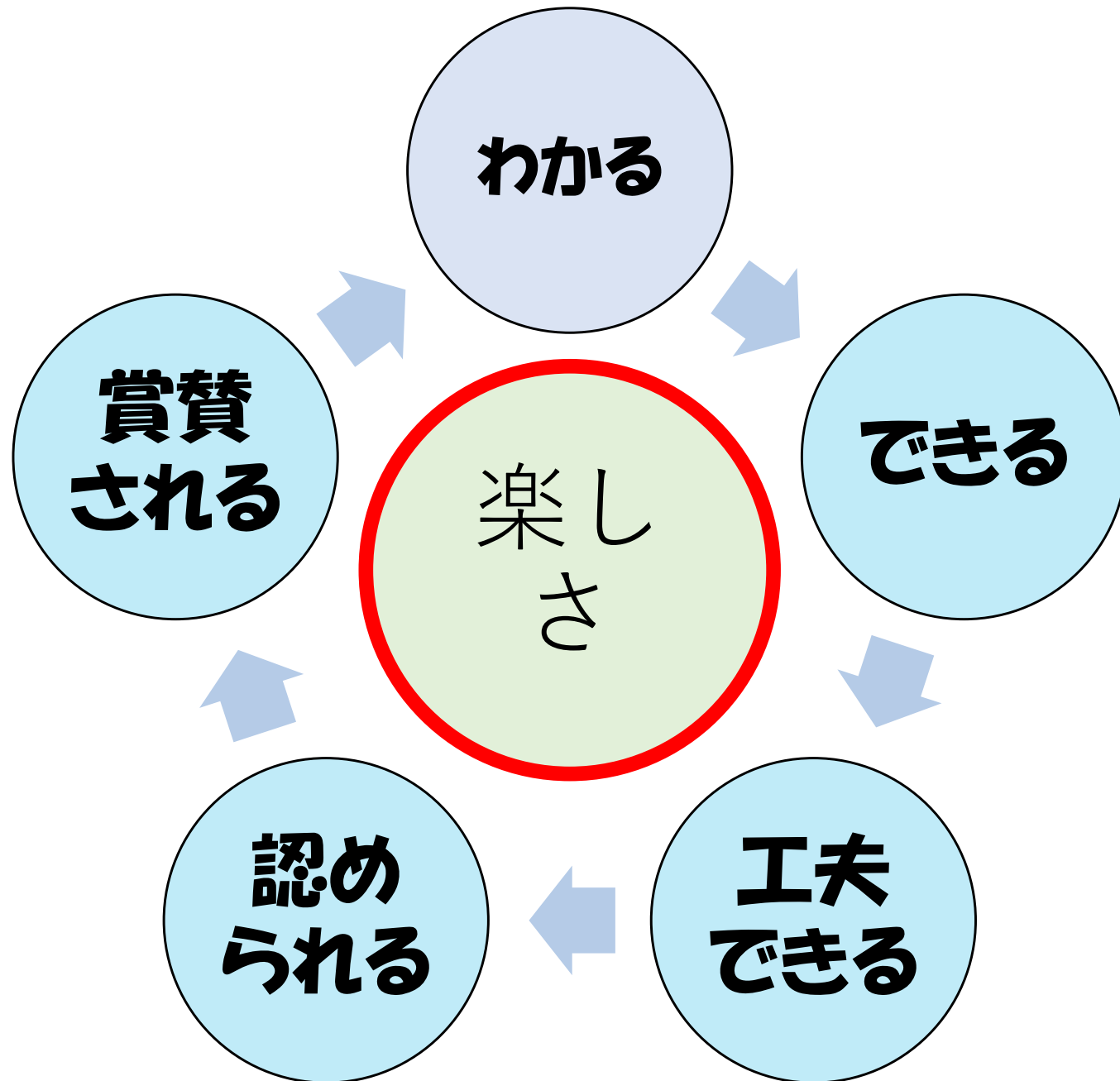
★楽しい  
★達成感  
★充実感  
★有能感

★楽しくない  
★惰性感  
★無力感  
★自己嫌悪感

またやりたい

もうやりたくない

# 子供にとってのラグビーの「楽しさ」とは



U8以下（3～8歳）

タグラグビーの内容



# U8（3～8歳）タグラグビーの試合

★福岡市内小学校は、100パーセント導入

	<b>ルール</b>
試合の人数 (1チーム)	<b>4人</b>
タックルなし	<b>タグ</b>
グラウンドの広さ (m)	<b>20×12</b>

多くの子供が一斉に、子供だけで安心安全に楽しく遊べるのがタグラグビーである。

タグラグビーの練習内容を導入する。

## メリット

今まで以上に

- ① チームワークがととても良くなる。
- ② パスワークがととても良くなる。
- ③ ステップがととてもうまくなる。
- ④ バランス能力がととても高くなる。

タグラグビーの練習内容を導入する。

## デメリット

- ① タックルができない。
- ② あたりができない。
- ③ キックができない。
- ④ 他たくさん・・・？

# デメリットの改善策

- ① タグラグビーの練習内容を少しだけ取り入れる。
- ② 今までの練習はしっかりとやる。

## ★留意点

小学2年生（8歳）までは、ラグビーの基礎・基本をしっかりと身に付かせる。

ミニラグビーの試合は、小学3年生（9歳）以上で実施する。

## 質問 1

スクールの練習内容を変更する必要があるか。

## 答え

- 今までの練習内容に、タグラグビーに関する内容を少し取り入れるだけでよい。

## 質問 2

なぜ、ミニラグビーの試合を  
やったらいけないのか。

答え

- ◎ 小学2年生までは、ラグビーの基礎基本的な練習で体を鍛えることは、今まで通りで良い。
- 試合となると、ぶつかったり、倒されたりすることで、ケガが発生するだけでなく、試合を喜ぶ子供以外に、心神的にラグビーを嫌いになる子供も発生するので、タグラグビーの方が良い。

### 質問 3

練習のどこで

タグラグビーをすれば良いのか

### 答え

◎ U8（3～8歳）までの練習時間は、  
集合してから終わるまで60分以内が良い。

◎ 10分間1コマを、60分間の練習の  
どこかに1コマが良い。

## クイズ8

子供が、集中できる時間は何分程度？

★ 10分間程度

向上効果の時間

大人は理解後⇔子どもは3回以上実践後

ある企業の目視作業でも約15分間で作業を交代している。



# U8以下（3～8歳以下） タグラグビーを導入するにあたり

- **体を動かすことの楽しさを教える。**
- 筋や筋肉、骨を痛めるようなことは避ける。
- 決して体力的な無理をさせない。

# U8以下（3～8歳以下） タグラグビーを導入するにあたり

- 学校体育でタグラグビー経験した子供をラグビースクールにたくさん入部させる。
- 練習内容は今まで通りで、タグラグビーの試合はさせても、ミニラグビーの試合はさせない。

# 低学年の練習（案）

- ◎ 小学2年生までの練習時間は、60分間以内。
- ◎ 10分間1コマ、練習内容は6種類以内。
- ◎ タグラグビーの練習内容は、最低1種類、多くても2種類だけ。

# 練習に10分間タグラグビーを導入（例）

A 10分間×1回

<b>10分間</b>	50分間
タグラグビー	<b>ミニラグビー</b>

B 5分間×2回

<b>5分間</b>	50分間	<b>5分間</b>
タグラグビー	ミニラグビー	タグラグビー

★ 練習開始の45分前には、最低コップ1杯の水分補給をさせる。

★ 練習中は、10～15分間に1回は休息を入れ、水分補給をさせる。

# 指導者のほめ方と叱り方(一例①)

## 効果的な話し方「行動＋影響＋提案＋感情」

### ○行動

行動や動作を客観的に捉える。

### ○影響

まわりにどれだけ影響を与えるのかを具体的に冷静に伝える。

### ○提案

次にどうすればベストかを一緒に考えて決める。

### ○感情

周りの人がどのように感じたか、最後に自分のポジティブな感情(気持ち)、を伝える。

## 指導者のほめ方と叱り方(一例②)

# 気持ちの伝え方(話し方)

### ○信頼

子ども自身ができることと判断したらしっかりと見守る。

### ○尊重

1人の人として子どもを敬う。**子どものありのまま**を認める。

### ○傾聴

意見や考えが違う場合、**子どもの考え**をしっかりと聞く。

### ○応援・激励

物事が達成できるようにしっかりと寄り添う。一緒に考える姿勢を見せる。

## 指導者のほめ方と叱り方(一例③)

# 叱り方「声かけ」の留意点

### ① 結果で叱らない。

それまでの過程における努力を大切にする。

### ② プレーの名称だけで叱らない。

できないプレーを具体的に(やってみせ、言って聞かせ、やらせて)指導する。

### ③ 単語「ダメ、違う、何をやっている、しっかりしろ、ばかやる、アホ、できないのか」を使わない。

具体的に何ができないのかを、個別に寄り添って指導する。

## 指導者のほめ方と叱り方(一例④)

# ほめ方「声かけ」の留意点

### ○ プロセス「過程の努力、姿勢、やり方」をほめる

元々の性格や能力をほめるのではなく、過程の努力やチャレンジ精神、前進する

中での工夫改善を少しでもしている点を、何が良かったのかを具体的にほめる。



## 指導者のほめ方と叱り方(一例⑤)

# ほめ方「声かけ」の留意点

### ○ 具体的にほめる。

「うまい、じょうず、よくできた」でなく、**見たままを具体的にほめ、**次への意欲が持てるようにほめる。

## 指導者のほめ方と叱り方(一例⑥)

# ほめ方「声かけ」の留意点

### ○ アウトプットをさせる。(笑顔で質問)

「楽しかった、嬉しかった」などの単発な言葉でなく、子ども自身がどのように思い、どのように感じたのかをしっかりと聞く。

すなわち、監督・コーチがどう感じたかで、子ども気持ちを誘導しない。

# 具体的な指導法

## 指導する者と、される者の位置

①正面、 ②斜め、 ③横

※ 子どもは、何も言われなくても正面に立たれると相当なフレッシャー

## 練習の終わりのふり返りが重要

毎回、試合だけでなく**練習をふり返る**こと。

○「楽しかったこと」    ○「汗をかいたこと」

○「自分が頑張ったこと」○「チームが頑張ったこと」

○「何ができるようになったか」

# 大会やフェスタにおける チームへの賞状

チームとしての1枚は当たり前

U8の試合の賞状は、小さくても、一人一人に渡せる賞状が心に響く。

# 【テーマ③】 タグラグビー練習メニュー



# 反射神経を鍛えるための練習



①手のひら上下攻防

②握手じゃんけん攻防

③じゃんけんキャッチプル

# リズム感を養うための練習



- ① 前後左右のジャンプ
- ② 走りながら、しりとりしながらパスをする。
- ③ 円になり、リズムに合わせて、全員がボールを持ち、同じタイミングで隣にパスをする。



# 調整力をつけるための練習



①牛・馬ゲーム・タグ取りヘビ

②通りぬけゲーム

③タグラグビーの試合

U8以下（3～8歳）

タグラグビー

基本的な競技規則（ルール）

# 競技規則（ルール） 1

試合の人数 (1チーム)	<b>4人（※5人以上で行わない。）</b>
グラウンドの広さ (m)	<b>20×12</b> (※ケガ防止のため、広くしない。)
試合開始・再開	○ <b>攻守の両チームは5m間を開ける。</b>  ○ <b>守り側全員が静止し、右手を挙げて「セット」と言ったら、プレー開始になる。</b>
攻撃をとめる。 (前進をとめる)	○ <b>ボールを持っている人のタグを取ることで前進をくい止められる。</b> ○ <b>ボールを持っている人は、どちらか一方のタグを取られたら、味方にボールを渡す。</b>

# 競技規則 (ルール) 2

攻  
守  
交  
代

- ① ぶつかったとき
- ② ボールを落としたり、前に投げたりしたとき
- ③ ボールをけったとき
- ④ **ボールを持って前に進まず、さがったとき**
- ⑤ タグ取りのじゃまをしたとき  
※タグは取らせるもの
- ⑥ コートの外に出たとき
- ⑦ トライをしたとき

## 競技規則（ルール） 3

### ゴール前攻防の再開

ゴール前5m以内もしくはトライライン内での反則があった場合、ゴール前5mから再開する。

トライ出来なかった場合もゴール前5mから再開する。

## 競技規則（ルール）4

得点

左右のタグが付いている状態で、ボールを持ってゴールラインを越えた場合、トライ（1点）とする。

グラウンドや体育館の状況でグラウンディングにするかゴールライン通過にするかは決定する。

## U8（3～8歳）のタグラグビーのルール

★レベルでパスの仕方を変える。

	初級	中級	上級
パス	タグ後に 手渡し パス	タグ後に 自由な パス	いつでも 自由な パス

# コート陣で大切にしたいこと 1

プレーのその一瞬に感動していたら、点差や残り時間や勝敗の結果は関係なくなる。

いろいろな技（技能）やチームプレーにチャレンジさせ、ほめてあげると、うれしくて楽しくてたまらなくなり、自ら上達しようと努力する。



## コーチ陣で大切にしたいこと2

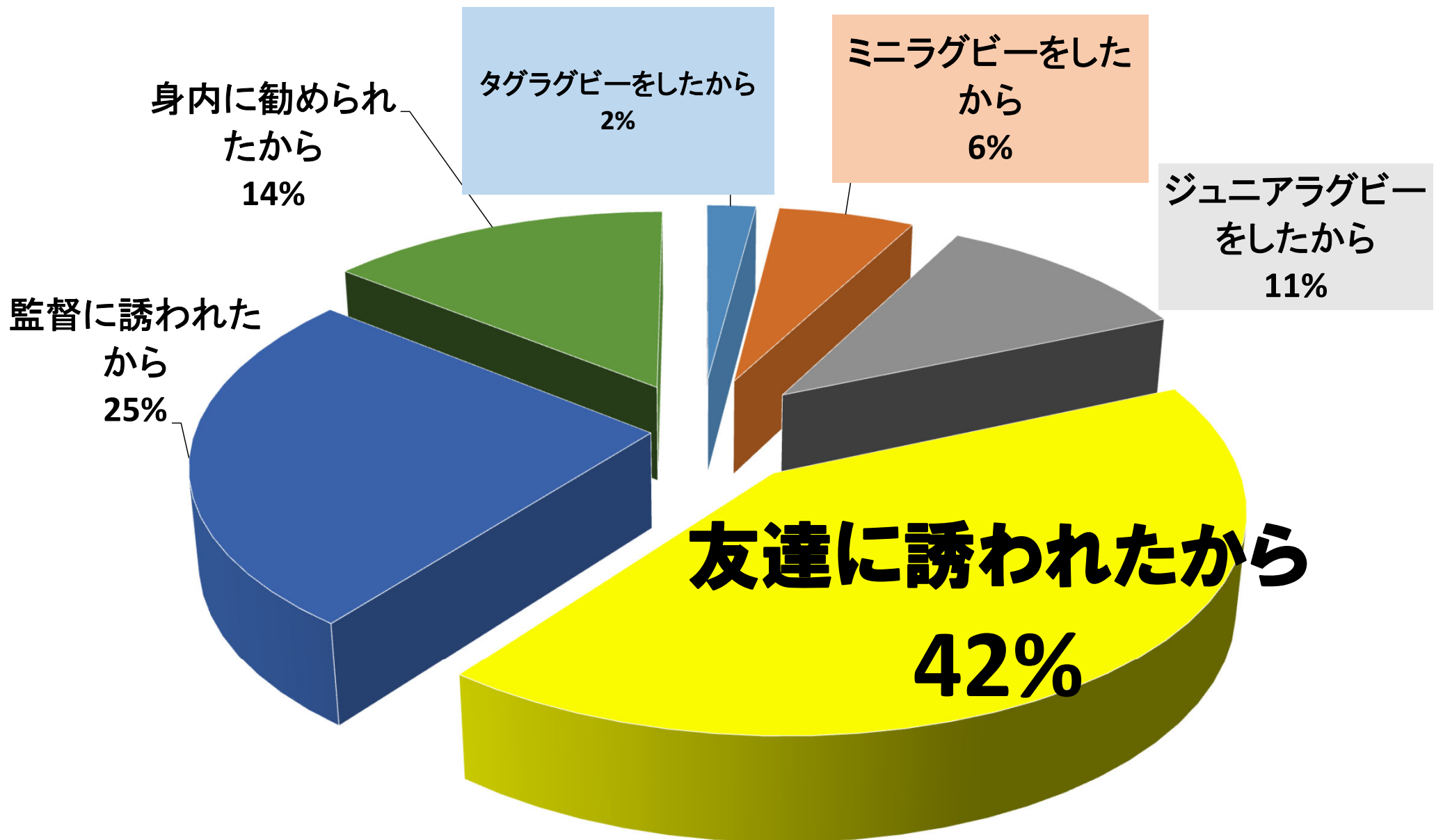
U8以下（3～8歳）は、  
勝つことより、プレーすることの  
喜びを教える。

結果

友達から友達へ

ラグビーの良さが広がり、  
ラグビースクールに入ろうと伝わる。

# ラグビーを始めたきっかけは？



# タグラグビーを導入し、指導者が目指すこと

- ① タグラグビーの練習メニューを覚える。
- ② コーディネーション遊びを覚える。



**指導メニューを増やし  
子供にとってさらに楽しい指導をする。**

プレーをほめられた！

相手をかかわすことができた！

トライができた！

タグが取れた！

ボールを触れた！

楽しい

うれしい

またやりたい

**ラグビースクールと一緒に入ろう！  
ラグビーをやろう！！**

最後に

タグラグビーを導入して  
ラグビー好きを増やそう。

御静聴ありがとうございました。

(一社) 福岡県ラグビーフットボール協会  
普及育成委員会 副委員長  
小野 創